

あつぎこどもの森公園は ……

長い間、地元の人によって山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までのこのような所にはたくさんの生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったのですが、それでもいまでは珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、「あつぎこどもの森公園」において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかしながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

・ 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である「あつぎこどもの森公園」の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。

・ 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。

・ 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

改訂2版発行 2020年9月10日

制作・著作 あつぎこどもの森クラブ 自然プロジェクトグループ

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

あつぎこどもの森の自然

いきものいっぱい あつぎこどもの森公園



ガイドウォークのようす

あつぎこどもの森クラブ

春 季節の植物 夏



冬

(見られる植物の例 左から右へ、上から下へ) ウグイスカグラ/カントウタンポポ/バイカウツギ/ネム/イヌコリヤナギ/ジュウニヒトエ/キンラン/カラスウリ/フキ/クス/ツリガネニンジン/リンドウ/ヒヨドリジョウゴ/ヤクシソウ/タイアザミ/ツルニンジン (実)

秋

ふえたトンボ

田んぼを再生したら・・・

無道谷のトンボ繁殖種数



あつぎこどもの森公園の場所（無道谷）は、昔は里山と谷戸として雑木林、畑、水田として利用されていましたが、1960年頃からはほとんど放置されきました。

公園として、昔この土地を利用していた頃の自然を再生しようと一部のヨシを刈り、水路を整備し田んぼを作ったところ、ここに飛来したり、繁殖したりするトンボの種類が増えました。

生き物に配慮した管理

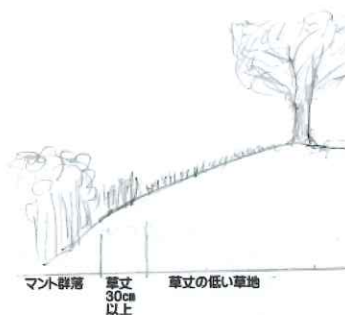
草原では・・・

見晴らしの良いくぬぎ広場は公園の中でも大事な場所です。

景色を見て楽しみ休憩する人や虫取りに興ずる子どもがいます。

ここではたくさんのバッタの種類が見られたり、秋にはコオロギやカンタンなど鳴く虫の声も楽しませてくれます。

一見単純なように見える草原ですが、周辺部の草丈はやや高くして、虫が住みやすい環境を作っ



ています。

雑木林では・・・

木が大きくなり、樹液も余り出なくなっています。新しい木を植えたり、下草を刈ったりして若返りを図る活動をしています。

水の中の生き物

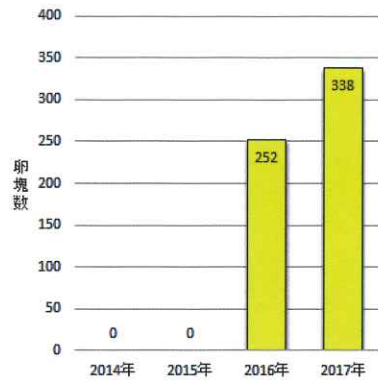
ヤマアカガエル



1月の雨の後の暖かい日になるとヤマアカガエルがたくさん田んぼに集まってきて卵を産みます。

田んぼを作る前はほとんど見られませんでした。

ヤマアカガエル卵塊数の経年変化



ホトケドジョウ

ホトケドジョウは、丘陵地の川の上流部で湧き水があるところに生息する、神奈川県では絶滅危惧種のドジョウです。



ため池や水路を整備したことで、ここではたくさん見られます。流域毎に異なる遺伝子を持つので、大切にしなければいけません。

アカハライモリ

アカハライモリも神奈川県では絶滅危惧種です。



ミズオオバコ

ここでは30年間記録が途絶えていた種類です。田んぼを作ったところ復活しました。

けもの

いろいろなけものがいるのもこの公園の特徴です。設置したセンサーカメラに記録された画像の一部です。



ニホンザル



タヌキ



ノウサギ



ホンドキツネ



親子連れのイノシシ



ニホンジカ雄

地層が語る大事件

公園建設のため開かれた切り通しやその付近に、大事件の歴史が刻まれていることがわかりました。過去の事件ですが、将来再来がないとは言えない、深刻な記録です。(地層の説明は詳しいパンフレットがあります。受付へ)

大事件1 東京軽石層の堆積



6万6千年前、今の箱根山^{こゝろ}強羅^ろ付近と思われるあたりが大爆発しました。

吹き上げられた火山灰と共に火砕流^{かさいりゅう}が城ヶ島や横浜市保土ヶ谷区まで達したことがわかっています。

こどもの森では火砕流の痕跡はなく、吹き上げられた火山灰が積もったものだけが見えます。

大事件2 始良カルデラの巨大噴火



約3万年前、鹿児島湾の奥、桜島のあるあたりで巨大噴火が起きました。噴火したところを始良カルデラといいます。火砕流や火山灰が厚く積もったところはシラス台地といい南九州で広く見られます。

ここに見られるのはがその時飛んできた火山灰です。

また、火山灰は西風に乗って北海道まで届いていることがわかっています。

大事件3 富士山 宝永噴火



1707(宝永4)年12月16日富士山中腹からふん火しました。

この時の火山灰が管理棟の脇で見られます。ここで見られる火山灰は、黒い色のガラス質のもので宝永スコリアともいいます。

この時のふん火は東京軽石層を積もらせたものに比べると、数十分の一の規模でしたが、神奈川県では大きな被害がありました。

あつぎこどもの森クラブ

この公園を利用したり、この公園の目的である、こどもたちが遊んで学んで元気になれる自然体験活動の場を作る事、そしてその基盤となるこの公園の自然を守り、更に良くする活動をするために集まったボランティアによる組織です。

- 1 四季の里山紹介プロジェクト(自然プロジェクト)
 - 2 生き物豊かな里山農業プロジェクト(農業プロジェクト)
 - 3 里山の冒険学校プロジェクト(冒険プロジェクト)
- の3つのプロジェクトグループがあり、活動しています。
ここでは、自然プロジェクトについて紹介します。

啓発活動

定例ガイドウォーク 原則毎月第3土曜日 午前9時30分から2時間程
誰でも参加できます。

水辺の生き物調査隊

自然が好きな子どもたちに、もっと自然を知り自然が好きになってもらおうというプログラムです。

参加するには、保険の関係があるので、「あつぎこどもの公園クラブ」利用会員になる必要があります。(1家族年会費500円)



その他 こどもの森フェスタの関係部分企画運営
公園の自然維持管理

植物や水辺の生き物の生息モニタリング

生態管理計画の作成

作成した管理計画に基づいた作業計画立案と、その一部作業

お願い

昆虫や野鳥の生息状況モニタリングに協力して下さる方を求めています。草刈などの作業に協力していただきながら、自然のことを深く知って頂く仲間が増えると良いと思っています。

賛同していただける方はボランティアとして作業して頂くために、保険に入って頂く必要があります。それも含めた年会費1500円の正会員になって下さるようお願いいたします。